

# human

No242

2012/6

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために  
ヒューマン(人)と名付けました。



「さくら荘のバラ」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: [info@ijinkai.or.jp](mailto:info@ijinkai.or.jp)

# 日本医師会理事の席

院長 小林 勝正

時効となった今だから話せる、実際にあったことをお話ししましょう。

二十年以上前のことである。日本医師会の理事は全て開業医のメンバーから構成されていた。その為開業医にとっての問題は日本医師会で取り上げられたが、病院特有の問題は、日本医師会で取り扱われる術は無かった。当時、名古屋掖済会病院院長 故太田元次先生は病院の諸問題を日本医師会に上げるべく病院選出の理事が必要であると考えた。太田先生は保険診療の是非を巡って診療拒否を行った当時の日本医師会会長 武見太郎先生と

大喧嘩をした先生でもある。全国で日本医師会の指示の下、国民皆保険の保険診療をポイコットした時、唯一名古屋掖済会病院は、救急医療において保険診療をポイコットしなかつた病院である。ちなみに太田先生は私の父、小林陽と軍医時代の無二の親友であり戦後もその付き合いは続いていた。その関係で私の仲人にもなり、私が医師となつてから、医療問題に関する討論もフリーにさせて頂いた方である。だから、当時、太田先生が日本医師会へ病院代表の理事を送り込んだ意義については、非常によく理解できた。医師優

遇税制なる言葉がまだ未だ存在するが、この税制の恩恵に浴している医師は、もはやほとんど居ない。しかし、この言葉が残っている限り、一般の人は、医師だけが税制面で優遇を受けているような錯覚に陥る。この税制も撤廃してほしいものだ。国民皆保険の日本では、医療行為が保険点数で表現される。薬代も薬価として表現される。この保険点数表も最近まで2種類あつた。甲表・乙表と言われ、どちらを選択するかは医療機関に任されていた。病院に有利な点数とか診療所に有利な点数とか言われた。この甲表と乙表の2種類の保険点数が消失したのはここ数年前の事である。それでも診療所と病院の請求点数は異なつていた。

つい最近まで病院と診療所では初診料が異なつていたし、再診料も異なり、常に診療所が有利となつていた。同じ国の同じ資格のある医師が、同じ診療行為をしても労働に対する報酬が異なるのである。紹介状の料金でも同様で診療所の方が高い。発信される情報の差は料金と関係ない。病院で同じ日に2科目の診療科を受診した場合、2番目に受診した科の初診料・再診料はタダである。この場合2番目に受診した医師の診察行為は認められていないのである。勿論、診療所の場合は2番目に受診しようが初診料再診料は認められていない。この様に診療所に有利、病院に不利な保険ルールは多数残存する。(平成24年4月より

この点数は改正された)

名古屋に大島病院という病院があった。院長は、大島種太郎医師であった。五百床を有する病院であったので、病院が抱える諸問題について非常にその問題が切実であったのであろう。この大島先生が日本医師会理事となられた。太田先生に言わせれば「やっつとこれで病院の問題が日本医師会へ通じるようになる」との事であった。翌年の元日の事である。息子さんの運転する車の助手席に乗車した大島先生は助手席から突っ込んだ暴走車の為に脳挫傷を負い、翌一月二日に帰らぬ人となった。世間では、大島先生を知る人は「院長はベンツに乗っていたから、なぜ死ぬような事故に遭われたのだろう？」との話であった。たま

たま正月に息子さんが運転するトヨタコロナの助手席に乗っておられたとの事である。この事件をきっかけに日本医師会に病院代表を送るといふ夢は絶たれ、病院の抱える問題の解決はその後二十年以上遅れたと言えるだろう。院長死亡の後、二年後には大島病院は閉院となった。この事件をきっかけに私は院長たる者の責任を痛感した次第である。病院規模が大きくなればなる程従業員も多くなる。従業員の背後には家族がいる。その総数を勘案すれば、一人の死が何千人にも影響を及ぼすことになる。大島種太郎先生の死を通して私は、リーダーとしての責任と自己防衛の義務を遂行することを覚えた。今や時代が変わって車はステイタスな物として所有するのではなく、生活必需品となった。贅

沢と思われてもその贅沢の中には命を守る安全性が担保される。私は友人が開業する度にこの大島先生の話をし、自分の為ではなく、職員の為にも自分を守る車の必要性を常に強調している。これは病院長に限らず、社会的責任を負う人間は、会社や家庭に対する責任を全うする為に常に自己防衛を意識する必要があると思う。

医療に手をそめてから、40年余、多くの交通事故死に遭遇してきた。交通事故死の特長は、若い人の死や、家族を残して立つ死である。その悲惨さは筆舌に絶えない。日本人は戦後、家、車、電気製品をぜいたく品としてとらえて来た。しかし、今やこれらは必需品であって、決してぜいたく品ではなくなつた。生活の機能を重

んじ、快適性を求めるまてになった。セカンドカーともなれば、これはぜいたく品と考えても良いだろう。昔から、医師、弁護士などが、高級な生活を送っているように言われて来た。現在では芸能人やスポーツ選手の方が高級な生活を送っている。日本医師会の理事の席が、それ程安価で消滅するのは残念でたまらない。私は愛知県警察医会の理事をたのまれ、その職についていたが、今回、日本警察医会の理事に推挙された。理事として遠隔地の会議にも出席しなければならなくなるが、交通事故に遭わないようくれぐれも注意し皆様の迷惑にならないようにしています。

## ～自己紹介～

ストレス外来 小林泰子

初めまして。この四月から新設されましたストレス外来を担当させていただいております。

非常勤ということもあり患者さんをはじめ他科の先生方や病院のスタッフの皆様にご迷惑・ご不便をお掛けしています。ご意見・ご提案等がありましたらぜひお聞かせください。

皆様に寄り添いそして可愛がっていただける診療科に育てて行きたいと思っています。

さくら総合病院が関連施設も含めこの20年程の間にどんどん規模が大きくなっていくのには外から見ていて驚いていました。洒落た洋風の建物に夏場の西日を和らげる為のすだれが整然と設置される風景は大口町の夏の風物詩と言っても良いのではないのでしょうか。初めて目にした時は正直その数にびっくりしたものです。今年からは関係者として準備段階からどのようにすだれが勢ぞろいするのか今から楽しみにしています。

私が担当します心の不調(脳機能の不調)は時にゆううつな気分や不安感としてあるいは夜の寝つきが悪くなる・ぐっすり眠れない、はたまた手足のしびれや背中・腰の痛みだったり便秘や下痢などお腹の調子が悪くなったりといった多彩な症状として現れてきます。明らかな「症状」として自覚されないこともあります。治療法も教科書通りにはいかないことも多いです。一回の診察で目の前がスカッと晴れるようなこともありません。

不快な症状が少しずつでも癒えてくれるようなお手伝いができますよう心がけてまいります。

どうぞよろしく申し上げます。

## ※第3回 市民公開講座開催のお知らせ

「地域のために総合病院ができること」として第3回目の市民公開講座を下記日程にて開催いたします。皆様お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

日 時	6月9日 土曜日 受付13時～ 開始14時～ (所要時間2時間程度)		
場 所	大口町健康文化センター ほほえみプラザ4F ほほえみホール		
費 用	無料		
内 容	開会の挨拶	院長	小林 勝正
	薬の飲み方・飲み合わせ	薬剤科	野田 幸孝
	自宅でできるリハビリテーション	リハビリテーション科	大田 英登
	みんなの常識 医療の非常識	外科	小林 豊
	閉会の挨拶	脳神経外科	秦 誠宏

## 脳卒中検診のご案内

脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)は中高年者を突然襲う脳の病気です。日本人の死亡原因の第3位を占め、寝たきり患者の約4割は脳卒中が原因です。しかし、十分な検査と適切な治療を行うことで脳卒中の発症を未然に防ぐことが可能になりました。当院では昨年10月から脳卒中検診を行っています。この機会に脳卒中検診を受けてみませんか?

**実施日**: 毎週月曜日※祝日及び年末年始を除く

**予約時間**: 午後13時～、14時～、15時～ ※所要時間2時間30分程度

**料 金**: 50,000円

**予約方法**: 当院ホームページから申込 <http://www.ijinkai.or.jp>

電話予約(医療連携室) TEL 0568-95-0015

※ご不明な点がありましたらお問い合わせください。





## 音楽療法とは



デイケア御嶽 音楽療法士 丹羽弥生

音楽とは何かと考えたことはありますか？音楽はリズム、メロディ、ハーモニーの3つの要素で構成されています。人間は生まれた時から、リズムを感じています。心臓の鼓動、呼吸、体内時計などにはリズムがあります。「私、リズム感ないの」と思っているあなたにもリズム感があります。次に獲得するのが音です。健康な赤ちゃんは生まれた時から耳は聴こえています。お母さんの呼ぶ声、ミルクを作る音、雨の降る音など成長するにつれ何の音かわかるようになります。その音が連らなってメロディーになります。お母さんの呼ぶ声もメロディーなのです。最後に獲得するのがハーモニーです。ハーモニーとは、音が2つ以上同時に鳴ることです。我が家では、コーヒーをたてる音と、オーブントースターが「チン」とパンが焼きあがった事を教えてくれる音が重なると、朝のハーモニーになります。

音楽療法とは、リズム、メロディー、ハーモニーのどの要素が対象者のどの部分に働きかけることができるかを考えながら、音楽を意図的に使う療法です。残念ながら、頭痛がひどい時に薬を飲んだらスカッとしたという効果目はありませんが、その人にとっては薬以上に効果が出る時もあります。

テンポ感がある歌を歌うことはストレスを発散させるだけではなく、肺活量の維持にもつながります。童謡を歌うと昔のことを回想することができますし、認知症の方でも、「まだ歌詞を覚えている」と自信を持つことができます。

楽器を演奏すること、打楽器を鳴らすことで手指を動かすことができます。歌を歌う人、楽器を鳴らす人と担当を決めて合奏ができると、達成感を感じることができ、社会性も生まれます。

懐メロだけではなく、現在のヒット曲も使う時があります。去年は「AKB48」の歌でリズム運動をしました。高齢者の方なら、お孫さんとコミュニケーションが取れます。今年は、「きゃりーぱみゅぱみゅ」の歌を使おうと思っています。何それ？と思われる方は、デイケア御嶽まで見学にお越しください。



## 太郎と花子の魅力

太郎と花子 業務部長 桑垣博光

5月7日に入職させていただきました桑垣博光です。常勤・非常勤の皆さま、よろしくご指導のほどお願いいたします。3月まである職安で(医)医仁会の求人紹介をしてきた立場から180度、太郎と花子のスタッフ教育、採用、業務改善などの業務を行うことになりました。ケアスタッフ、看護師、ヘルパー、事務・総務の人達のてきぱきした動きには敬服を感じています。若い人が多い職場です。

41号線を車で走行するたびに田園風景とは不釣り合いな茶色のシックなヨーロッパ調レンガ建て外観が目飛び込む。「えっ!なんだ? アレは……」「ホテルかな」「高いだろうな」など勝手な想像をふくらまして溜息まじりに羨望の目で見ていたものです。まさか有料老人ホームとは思っても寄らず、まさかここで働くことになるとは夢にも想像できませんでした。まさにく(いい意味で)ダブルの運命的な感動を覚えました。

外観の壮麗さや奇抜なガーゴイル(テラス屋根造りに飾られている怪物の彫像)は圧巻で異国気分を味わうことができます。さらに中はアトリウムのサモトラケの女神ニケ(翼を広げ、未来の世界に羽ばたく)姿は威風堂々としてロビーの主。東山魁夷画伯の有名な「緑の詩」の額縁が掛り、美術館かと錯覚するぐらいすばらしい。2階の回廊を歩くとなぜか気分が落ち着きゆったりと寛ぐ…。贅沢な気分を堪能することができます。

このような心豊かに過ごせる環境をよりひとりでも多くの高齢者にPRし、早く300人の入居者で埋まるようスタッフと力を合わせ頑張りたいと決意しています。

# 診療科表

平成24年6月1日現在

	午前 9:00~12:00										午後 5:00~7:30																																		
	消化器病 外科 センター	皮膚病 呼吸器 総合科 センター	運動器 形成 センター	脳卒中 脊髄 センター	神経 糖尿病 感染症 センター	脳卒中 脊髄 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター	小児 女性疾患 センター																								
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※1 休診日あり ※2 祝日診療あり(9:00~11:00)
- 診療時間は、診療科目により異なります
- ご不明な点がある場合は、職員にご確認ください
- 診療日が変わる場合があります。ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)  
 human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2012年6月1日  
 No.242 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部